



## 食育を兼ねた献立が魅力の学びのkidsレストラン おいしく食べて学べて笑顔になれる場所

7月23日、NPO法人こすもす村と伊万里実業高校フードプロジェクト部が共同で運営する子ども食堂（名称：学びのkidsレストラン）がオープンしました。この日は協力企業や団体の関係者を招いたプレオープン企画があり『早寝早起き朝ご飯』をテーマにしたメニューが提供されました。食堂は予約制で保護者も利用でき、毎月第3か第4の日曜日にセントラルホテル伊万里で開かれます。



↑ぶりの照り焼きや黒米ごはん、玉子焼きなどが並んだ食事を配膳する伊万里実業高校フードプロジェクト部の部員たち

## イマリンビーチ海開き 子どもたちの歓声とともに海水浴場がオープン

イマリンビーチの海開きが行われました。この日は、海水浴期間中の安全と盛況を願って式典が開催され、また、シーバード伊万里による救助訓練が披露されたほか、たんぼぼこども園と波多津保育園の園児が初泳ぎを行いました。園児は「海の中は気持ちよかった。友だちと水をかけ合って楽しかった。また泳ぎにきたい」と話してくれました。



↑今年初めての海水浴を楽しむ園児たち

## 6月10日は『森永ミルクキャラメルの日』 お菓子を通じて郷土愛を育む

市と森永製菓株式会社との連携事業第6弾となるイベントがマックスバリュ伊万里駅前店で開催されました。いまりんモーモちゃんの塗り絵やカプセルトイによるスピードくじが行われたほか、記念撮影では森永製菓の人気マスコットキャラクター『キョロちゃん』が登場し、訪れた小学生は「初めてキョロちゃんに会えてうれしかった」と笑顔で話してくれました。



↑いまりんモーモちゃんとキョロちゃんと笑顔で記念撮影をする子どもたち

## 地域おこし協力隊員企画テントサウナ in kawachino 『整う』必至の自然も堪能できる究極サウナ

市の山間部に位置する人口約120人の東山代町川内野地区でテントサウナの体験イベントがあり、県内外から約20人が参加しました。参加者は自分たちでテントを設営し温度80度以上のテントで大量に汗をかけた後に、水風呂の代わりに近くの小川につかることを繰り返したり、昼ごはんは川内野の米を使った釜炊きおにぎりを食べたりと、心も体も満たされているようでした。



↑心身が深いリラックス状態になるとされる『整う』を目指して、高温と戦っている真ただ中の佐賀市からの参加者